



視 点 の さくら

SAKURA'S
PERSPECTIVE

さくらこどもセンターでのとあるシーンを「さくらの視点」からわかりやすく解説します。



真冬にランニングシャツで立っていた5歳の男の子

男の子が、真冬にランニングシャツ1枚で玄関に立って不機嫌な様子。

この状況を「男の子の気持ち」「先生の頭の中」「教室の状況」という3つの視点から時系列で解説します。

【先生】あらあら朝からご機嫌斜めでやってきたのね。今日はさくらじゃなくて、どこか行きたかったところがあったのかな?」でもよく頑張ったことまできたんだね。」と嫌だけどきたことに共感する。

【男の子】今日はさくらに来るのは嫌だったんだ!と言わんばかりに何度もお母さんに怒りをぶつける。下駄箱を倒すふりをしてガタガタさせている。

【先生】したいことを途中で止められてきたのかな?兄弟がどこかに遊びに行ってしまうのが、納得いかないのかな?嫌だった気持ちは簡単には収まらなさそう。自分は嫌だったんだということを、体を使って表現している。受け入れられない気持ちは、服も脱ぎ捨てたい気持ちと同じくらいなんだな。感覚過敏のある子にとって服を着ていることもストレスではある。もーあれもこれも嫌!!を精一杯表現しているんだな。気持ちがいずれまで少し離れて様子をみてみよう。

【教室】他の生徒は朝の会を始める。お母さんも帰り、指導者も男の子から離れ朝の会に加わる。たまに指導者が心配そうに気にかけて眺めるが、あえて声はかけない。朝の会が終わり、次のGYM授業が始まるため生徒は1列に並んで隣の部屋へ出発する。

【男の子】みんなGYMに行くんだ。先生もみんな行ってしまおうだろうか少し気になってきた様子。

【教室】ついに一人の先生以外みんな部屋からいなくなってしまう。

【男の子】いよいよ心細くなってきた様子。

【教室】残っていた先生が「用事があるからちよつと行ってくるね。すぐ戻るからね」と言っておぼろげにさばからいなくなる。部屋にひとりになってしまふ。

【男の子】玄関から部屋の真ん中まで進んでくる。みんなの中に入りたい気持ちにもなってきたが自分から言い出せないし、入るきっかけがつかめないでいる様子。帰ってくるといった先生が帰ってこなくて、いよいよ心細くなり、GYMの部屋をのぞきに行こうとする。その途端先生が帰ってくる気配を感じ、急いで部屋の真ん中まで戻る。

【教室】戻ってきた先生がもう一度用事があるから「行ってくるね」と言っておぼろげにさばからいなくなる。いよいよ一人ぼっちになる。

【先生】その様子を男の子には見えない場所から観察している。さて助け船を出しに行こう。男の子のそばに行く。「寒くない?」「寒いよねえ」と話しかける。

【男の子】「うん」と小さくうなずく。

指導者の心得

- 子どもの心の揺れに共感し、心のひだに付き合っていく。
- 決して大人が決めたこと、強制しないことを感じさせる。
- 自分で考えさせる。考える間を用意する。自分で選択させる。
- 自分で決められたこと、選択できたことを褒める

【先生】「お洋服着る?」とたずねてみる。

【男の子】「うん」と大きくうなずく。

【先生】「や」と服を着るきっかけができた安堵感が伝わる。「服どこにあるのかなあ?」とたずねる。

【男の子】「ここだよ!」とほつとしたように走って玄関に取りに行く。そしてテキパキと自分で服を着る。

【先生】「裸足だから足冷たいねえ。靴下どこいっちゃったんだらうね」とたずねる。

【男の子】「ここだよ!」とさらに嬉しそうに得意げに教えてくれる。気分も一掃してきた表情。「みんなのところに行こうか。」と誘うと大きくうなずく。一緒に隣のGYMの部屋に行くがやはり部屋の入口に一步踏み入ると急に不安が襲ってきた様子で足が止まる。男の子の歩みのスピードに合わせて寄り添いながら歩く。集団から2メートルほど距離を置いた場所で「先生と一緒に見て?」と聞く心細そうに小さくうなずく。「体が冷えちゃったね。ここでストーブにあたって温めようか」と言うとう安心したようにうなずく。しばらく一緒に見学。

【先生】GYMにはあえて誘わず、もうしばらく覚悟が決まるのを待つ。休憩タイムに入りにぎやかな時間に緊張感がまぎれるのを見計らって遊んでおいでと促す。

【男の子】そろそろとみんなの中に入って遊びますが、常にこちらを見ながら遊んでいる。

【先生】振り返った時は笑みを返し、少し距離を置いた場所でもそのまま見守る。ここで見ているよという安心感が伝わるようその場でアイコンタクトを送り続ける。

【男の子】遊び方、体の動きが少しずつ大きくなっていく。振り返りも徐々に少なくなっていく。

【先生】表情が笑顔になり、10分ほどして自分から近くの子どもに関りを始めたのを機に担当指導者に状態の変化を説明して引き継ぐ。

- ① 学校関係者さま、医療関係者さまを対象にしたティーチャープログラムお申込み受付中 【開催日】 7/16(月), 22(日) 8/12(日), 19(日), 26(日)
【時間】 10:00~ 【場所】 KOBEオフィス
- ② ケイキマナスクール事業説明会 7/14(土) 【場所】 11:00~12:00 エリクソン校
- ③ さくらっ子クラブ事業説明会 7/14(土) 【場所】 15:00~16:00 エリクソン校

INFORMATION

お問い合わせ ☞ コールセンター 078-331-3200 (会員様専用 079-564-4192) [受付時間: 平日 / 土曜 9:00~18:00]
開催日や開催校などの詳細情報は、ホームページ「さくら日記」(https://ameblo.jp/2503sakura/)でお知らせしております。ご参加お待ちしております。



保護者の方のお家で生まれたヤギの赤ちゃん！
新しい命の誕生は、みんなを幸せな気持ちにしてくれます。



エリクソン校でリズム表現GYMの開催しました。
慎重にバランスをとってカップを選びます。



フラワー校のプレイルームがリニューアル！
子どもたちがリラックスできる環境づくり
を心がけています。



森のお散歩中に「橋作り」をしました！
自然にある物を工夫して、様々な遊びを楽しんでいます。



手を膝の上におき、先生が読む問題に
意識を集中させます。しっかりと記憶できるよう
集中して聞くことができます。



慎重さが必要なTEACCHにも
根気よく取り組んでいます。



月に一度の全体ミーティング。各クラスの報告と対応の
統一の確認、勉強会、外部研修の報告など、
あつという間の2時間でした。



個別指導の合間に10分間の休憩があります。
安心してつくりています。



英会話クラスの様子。
この日は、rock scissors paper game(じゃんけん)。
先生と勝負をします！



6月の活動報告

ACTIVITIES IN JUNE

さくらの毎日を発信している「さくら日記」から
6月の活動をピックアップしました。



GYMも早く終わったのでバスに乗って
ドライブに出かけました！



表情の絵カードを見ながらみんなで「表情」について
学びました。実際に自分の表情を見ながら学ぶこと、
良い練習になりました。



エリクソン校の中庭の天井に、今年もツバメの巣が
できました。みんなで巣立ちの日を楽しみに見守っています。



集中トレーニングの様子。カラフルで楽しい発想の教材を
使いながら、集中力や試行錯誤力、空間認知力を養っていきます。



SSTでは「当たり前だけど大切なルール」を
話し合いました。これまでの自分はどうかだったのか、
なぜこうする必要があるのか等、
真剣に考えることができました。



みんなで女王パチホイホイをつくっています。
エリクソンの森でみんなが安全に遊べるように
森のメンテナンスを授業の一環で行なっています。



さくらっ子クラブの傘のマナー講座。
人のいる方に向けて開くとうなる？
バサバサと傘の水をはらったらどうなる？
実際にみんなで練習しました。



HグループのSST。カードの中から
自分に当てはまると思う強みが書かれたカードを
3枚選びます。グループで大切にしている事の一つが、
自己肯定感を高めることです。

> 詳しい指導内容や毎日の様子など、ホームページをご覧ください。

さくらこどもセンター

検索